
大好きっ!?

絢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好きっ!?

【Nコード】

N8286K

【作者名】

絢

【あらすじ】

今まで恋なんてしたことはなかった。
そんな私がまさか・・・。

今までの私。

私の名前は亜美！

私は身長も高くないし、

特に太ってるわけでもなく

特に痩せてるわけでもない

普通の女子高生。

私は今日この桃桜高校に

入学したんだ。

県で一番頭のいいの高校だから、

頑張っていっぱい勉強したんだ。

もちろん、恋愛なんてものは一度もしたことが
なかった。

それは恋愛がしたい。と強く

思ったことがなかったからだ。

私はこれからもずっと、

恋愛はしないんだろうな」と

思っていた。

でも、それは違ったんだ。

あいつに出会ってから・・・。

今までの私。(後書き)

これから、頑張って書いていこうと思います！
中傷・荒しはお断りします。
お願いします。

入学式で・・・

今日は待ちに待った入学式！！
友達100人できるかな♪とか
馬鹿な事考えながら、真新しい
制服に着替えた。

「よしっ！頑張るぞ！」

気合を十分に入れた。
1階に降りるとお母さんが
スーツを来て待っていた。

「早く行くわよ。」

「はい」

心臓がドキドキしている。
楽しみのような楽しみじゃないような
そんな気持ちだ。

学校につくと周りには
自分同様、新しい制服を着た人達がいた。

私は自分のクラスを確認すると
お母さんと別れて、クラスへ
向かった。

クラスに入るともうすでに
いくつかのグループが

できていた。

私はその中の1つのグループの人達に声をかけた。

「おはよう」

「「おはよう!!」」

「初めまして!」

「「初めまして!」」

そのグループの人達とは意外にも気があう人達が多く、すぐに馴染むことができた。

クラス担任が入ってきて、

体育館に入場の隊形にさせられた。

体育館に入場すると

そこには黒髪の中に

ポツンと1人赤髪をした生徒がいた。

「うわゝ不良じゃん。関わらないようにしないと。」

心の中で思った。

体育館の中を歩いていると

運悪く後ろの生徒が私の靴のかかとを踏んでしまった。

「ぎゃ!!」

ばんっ!!!!

体育館でコケてしまうとは。。

恥ずかしい。。

すると、

「おい。大丈夫か？」

誰かに声をかけられた。

「はい。大丈夫です。」

返事をして、立って声をかけてくれた人を見ると・・・

赤髪の男子生徒じゃん！！

でも、意外と優しいしかっこいいじゃん笑
でも、関わっちゃったよぉ涙
どうしよ。。

これからパシリにされたら。。

そう思いながら気づいたら入学式は
終わっていた。

退場して、クラスに戻り

担任の話を聞いて

帰っていると、後ろから

「おい。」

と誰かに声をかけられた。

入学式で・・・（後書き）

中傷、荒しお断り。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8286k/>

大好きっ!?

2011年10月6日07時48分発行